

## 第5学年国語科学習指導案

単元名 ポップでしようかいしよう

主教材名 「大造じいさんとガン」 椋 鳩十 作 (光村図書5年下)

### 1 単元について

#### (1) 児童観

本学級の児童は、「白いぼうし」(4年上)で場面や情景を想像させる言葉を手がかりに読んだり、自分の感想をまとめたりする学習を、また、「ごんぎつね」(4年下)では、場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読み、それを基に自分の考えをまとめて、一人一人の感じ方について違いがあることを学習している。「新しい友達」(5年上)では、登場人物の心情の変化を叙述に即して読み、自分なりの感想をもつ学習を、「わらくつの中の神様」では、行動描写や会話などから人物像を読み、人物の考え方・生き方について自分なりの感想をもつ学習を経験してきている。しかし、物語を読むときの中心となる登場人物について、他の登場人物との相互関係をとらえ、それらに基づいて心情や場面の描写をとらえる力は十分ではない。登場人物の心情の変化や場面の描写を読み取ることは、物語の主題につながる重要な読み方である。そこで、児童が興味をもち、意欲的に学習に取り組みながら読み方を身に付けることができるような指導法の工夫を行う必要がある。

#### (2) 教材観

本単元は、一人一人の登場人物の気持ちの変化だけではなく、登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえ、内面にある深い心情も合わせてとらえることができるようにするために設定する。教材文「大造じいさんとガン」は、起承転結の場面構成が分かりやすく、会話文や地の文の中にじいさんの気持ちを直接表現している言葉が多く見られる。また、情景描写を通してじいさんの気持ちを暗示している表現もある。このような作者の表現の工夫は、中心人物の気持ちの変化を読む取る力を付けたり、直接文章に表現されていない内面にある深い心情を、想像を広げながら読み取る力を付けたりするために、適した教材文であるといえる。

#### (3) 指導観

新学習指導要領解説では、「読むこと」の言語活動例「エ 本を読んで推薦の文章を書く言語活動」の推薦方法の例示として、広告カード(ポップ)とある。一般的にポップとは、「紙を広告媒体としてその上に商品名と価格、またはキャッチコピーや説明文、イラストだけを手書きしたものであり、数ある広告媒体の中でも単純なツールの一つ」である。本を紹介するためにポップを使うなら、キャッチコピーの部分に本の主題、説明文の部分にあらすじやおすすめの言葉書くことができ、

物語を読んで主題やあらすじを読み取らせる学習とポップに表現する内容とが一致し、言語活動を通して「読むこと」の力を付けることができる。そこで、指導にあたっては、本を読んで推薦の文章を書く言語活動ポップ作りを取り入れる。ポップで本を紹介するには、文章をよく読み込み、作者の伝えたい事をできるだけ短い文章で表したり、推薦するための言葉などを自分の言葉で表現したりする力が必要である。本単元では、図書館にある本の中で自分の気に入った本を多くの児童に読んでもらうため、ポップを作って紹介する活動を仕組む。ポップには内容として、本の題名、作

者の名前，主題を一文で表したキャッチコピー，おすすめの場面の紹介の5つの内容を書かせることにする。児童には，教材文「大造じいさんとがん」でのポップ作りを通じた学習で，登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえる力や，情景描写を通して暗示された登場人物の内面にある心情を想像を広げながら読み取る力を付けたい。登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえさせることについては，残雪の行動によって大造じいさんの気持ちが変わっていく様子を言葉に着目させながら，読み取らせていきたい。この学習で身に付けた力を使う場として，図書館にある本を紹介する活動へと広げていくことでこの力が更に定着していくと考える。

児童に，学習の進め方を身に付けさせるために，単元を通して，「めあてをもつ」，「見通す」，「自分の考えをもつ」，「考えを交流する」，「まとめる」，「振り返る」という1時間の流れを意識しながら進めさせていきたい。

## 2 単元の目標

ポップ作りを通して，登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。

## 3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	本を紹介するためのポップ作りに関心をもち，意欲的に教材文や選んだ本を読もうとしている。
イ 読む能力	がんの頭領残雪に対する大造じいさんの心情の変化を，心情を暗示する情景描写とともに読み取り，優れた叙述に対して自分の考えをまとめている。 【C読むこと(1)エ】
ウ 言語についての 知識・理解・技能	登場人物の心情を暗示するような優れた情景描写に関心をもつことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)】

## 4 指導と評価の計画（全9時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	前書きから物語の設定を知り，初発の感想をもつ。  ポップについて知り，学習課題を決める。	・前書きでは，物語の場面の設定と大造じいさんの若いころの話であることをおさえる。  ・ポップとはどんなものを紹介し読み取ったことをポップにまとめることを知らせ，学習課題につなげる。	ア 学習課題を決めるために，積極的に話し合いをしている。 〔観察〕
	2	ポップに載せる内容について確認し，学習計画を立てる。	・初発の感想を基に，学習の計画を立てさせ，計画表に書き込ませる。	ア 学習計画について進んで話し合い，学習の見通しを計画表に書くことができている。 〔観察及びワークシート〕
		場面分けをして，それ	・「大造じいさんとガン」の全文を	イ 各場面を読み，場面

二

三

3	それぞれの場面の名前を考える。	読ませ、物語の大体をとらえさせる。	の名前を付けることができる。 〔ワークシート〕
4	一の場面を読んで、つりばりの計略について読み取る。	・一の場面を読ませ、大造じいさんと残雪についての人物設定とつりばりの計略の内容について、大造じいさんの行動を表す言葉に着目させることで読み取らせる。	イ 情景描写に暗示された大造じいさんの心情を自分の言葉で書くことができる。 〔ワークシート〕
5	二の場面を読んで、たにしの計略について読み取る。	・一の場面での大造じいさんの気持ちと比較させながら、大造じいさんの気持ちの変化を読み取らせる。	ウ 大造じいさんの残雪に対する気持ちを叙述に即して考えている。 〔観察及びワークシート〕
6 (本時)	はやぶさと残雪の死闘の場面を中心に読み、大造じいさんの心の変化を読み取る。	・大造じいさんの心はどこで変わったのか、なぜ、変わったのかを文章全体に読みを広げながら読み取らせる。	イ 大造じいさんの心の変化を読み取ることができる。 〔ワークシート〕
7	大造じいさんが残雪を見送る場面を読み、主題について考え、大造じいさんとガンを紹介するポップを完成させる。	・大造じいさんと残雪の関係を想像させ、その関係に対する自分の考えをまとめさせる。 ・主題(キャッチコピー)とおすすめの場面の紹介をポップにまとめさせる。	イ 大造じいさんと残雪の関係について、自分の考えをもつことができる。〔ワークシート〕 ア 意欲的にポップ作りに取り組んでいる。 〔観察〕
8 ・ (課外) ・ 9	好きな本を選んで読み、ポップを作って紹介する。	・「大造じいさんとガン」を通して学習した読み方を使って、自分が選んだ本の紹介をポップにまとめさせる。	ア 自分が紹介したい本を選び、意欲的にポップ作りに取り組んでいる。〔観察〕 イ 主題について、自分の考えをまとめることができる。 〔ワークシート〕

5 本時の計画 ( 6 / 9 )

(1) 目標

残雪の行動とそれに対する大造じいさんの言動から、大造じいさんの心の変化を文中の叙述を基に読み取ることができる。

(2) 展開

学習指導	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 まとめの場面を読み、大造じいさんの心が変わったことに気付き、本時のめあてをもつ。</p>	<p>これまでの学習で読み取った残雪の行動に対する大造じいさんの気持ちをおさえる。</p> <p>2つの場面の大造じいさんの行動を表す言葉に着目させることで、残雪に対する大造じいさんの心が、はやぶさとの死闘の前までと残雪を見送る時とでは違うことに気付かせる。</p> <p>「さあ、今日こそ、あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ。」と「大造じいさんは、強く心を打たれて、ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」の2文を比較することで、大造じいさんの心が大きく変わったことに気付くようにする。</p>
<p>大造じいさんの心は、どうして変わったのか考えよう。</p>	
<p>3 学習の見通しをもつ。</p> <div data-bbox="207 1131 646 1209" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(変わった理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残雪の行動や様子を表す言葉を探す。</li> </ul> </div> <p>4 一人調べをして大造じいさんの心はどうして変わったのか自分の考えをもつ。</p> <div data-bbox="207 1579 678 1881" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[何によって]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきなり、敵にぶつかっていったところ。</li> <li>・力いっぱい相手をなぐりつけたところ。</li> <li>・残りの力をふりしぼって、ぐっと長い首を持ち上げたところ。</li> <li>・正面からにらみつけたところ。</li> <li>・いかにも、頭領らしい、堂々たる態度。</li> <li>・最期の時を感じて、せめて頭領たるいげんをくずつけまいと努力しているところ。</li> </ul> </div>	<p>前時までの読み取りで、行動を表す言葉や気持ちを表す言葉を探したことを想起させ、文中のどんな言葉を探せば、変わった理由が分かるか考えさせる。</p> <p>残雪の行動とそれに対する大造じいさんの気持ちが分かる言葉に着目させることで、じいさんの心を動かす要因になったのは、残雪の行動や様子であることに気付かせ、見通しをもたせる。</p> <p>大造じいさんの心を動かす要因になった残雪の行動や様子を探し、その理由も合わせてワークシートに記入できるように支援する。</p> <div data-bbox="774 1668 1444 1792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】</p> <p>大造じいさんの心を動かした残雪の行動や様子を文中から探している。〔ワークシート〕</p> </div>
<p>5 大造じいさんの心を変えた残雪の行動や様子について、考えを交流する。</p>	<p>大造じいさんの心を変えた残雪の行動について考えていくことで、他の場面の出来事や大造じいさん</p>

- ・グループで交流する。
- ・全体で交流する。

・いきなり、敵にぶつかっていった残雪の勇気に感心したから。  
・人間もはやぶさもなく戦っていた残雪に感動したから。  
・最期の時を感じているのに、努力している残雪がただの鳥に思えなかったから。

6 本時の学習のまとめをする。

7 学習を振り返り、次時の活動を確認する。

の気持ちを振り返らせたい。

交流の形態は、グループでの交流から全体での交流へ広げていくことで、より深い読みへとつなげていく。

全体の交流での友達の意見を参考にさせ、大造じいさんの心はどうして変わったのか、自分の考えをワークシートにまとめさせる。

本時は、残雪のとった行動からと大造じいさんの気持ちを考えていったことを確認させ、3の場面の内容を一文でポップシートに書かせる。

【評価】

大造じいさんと残雪をつないだ線の理由を、叙述を基に書いている。〔ワークシート〕

児童自身の学習の進め方等について振り返らせる。